

2015年度

人権週間講演会

2015年度人権週間講演会を開催いたします。各分野で活躍されている識者を講師にお招きし、講演をはじめ、映画上映、トークセッション、シンポジウムを実施します。お申し込みは不要で、入場は無料です。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

12月4日(金)

13:00~16:30

会場 カンタベリーホール



鎌仲ひとみ 映像作家

映画「小さき声のカノン」上映 + 鎌仲ひとみ監督トークセッション

映画「小さき声のカノン」は、2011年3月11日の福島第一原発事故による放射能汚染の被害を受ける子どもたちと、子どもたちを守ろうとする母親たちの声に耳を傾けたドキュメンタリー映画です。

当日は映画上映のほか、鎌仲ひとみ監督をお招きし、トークセッションも実施します。

12月7日(月)

13:20~14:50

会場 T-003教室
(聖トマス館)



小山直樹 社会福祉法人 武田塾

×

藤原勇治 社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会 福島育成園

福祉施設入所者の人権を考える

小山直樹さん、藤原勇治さんをお招きします。当日は長年、福祉の分野に携わってこられたおふたりに、福祉施設入所者の人権について貴重なお話を伺い、考えます。

12月8日(火)

11:00~12:30

会場 3-111教室
(3号館)



伏見裕子 公益財団法人 世界人権問題研究センター

日本における女性観と女性差別：
女性のケガレから考える

今から30年前の1985年7月、日本は国連女性差別撤廃条約を批准しました。翌年4月には、条約批准の重要な要件の1つであった男女雇用機会均等法が施行されました。しかし、日本における女性の地位向上はいまだ道半ばとも言わざるを得ません。

講演当日は、産屋に関する貴重な研究で京都大学から博士号を授与された伏見裕子さんをお招きし、日本における女性観と女性差別の根源について、性と生殖に関する歴史から探っていきます。

人権週間

1948年12月10日の国際連合総会において「世界人権宣言」が採択され、1950年に、この宣言が採択された「12月10日」を記念して「世界人権デー」とし、12月10日を含む前1週間を「人権週間」と定めて、加盟国に記念する事業を実施するように呼びかけられました。

日本では、1949年から12月4日~10日までの1週間を「人権週間」と定め、毎年人権尊重のための啓発活動を推進しています。桃山学院大学においても、この人権週間にあわせて「人権週間講演会」を企画・開催しております。

お問い合わせ先

チャペル事務室

TEL.0725-54-3131(代表)

午前9時~午後5時(月~金)

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1番1号

◆泉北高速鉄道「和泉中央」駅より徒歩約12分

◆和泉中央駅発3番のりば「美術館前」行き

南海バスで「緑ヶ丘団地」下車すぐ

※お車でのご来場はご遠慮ください。



世界が変わる体験がある。

桃山学院大学
St. Andrew's University

